西小だより

ホームページはこちら→

「強く　正しく　健やかに」　令和4年 5月12日（木）　第3号　校長　都外川　潔

新緑が美しい時季となりました。西小の花壇にもきれいな花が咲いています。春は、いのちの輝きを感じる季節ですね。今朝の全校朝会では、次のような話をしました。

くすのきがすっきり！

ゴールデンウィークの間に、運動場のくすのきの剪定をしていただきました。枝が下の方まで伸びたり、枯れ枝が落ちそうになっていたりと、安全面での心配があったため、大村市教育委員会にお願いして対応していただきました。また、剪定をしてくださった業者の方は、高い木に登って枝を落とす作業を軽やかにされていました。どの分野でも、専門家の方の技術はすごいですね。きれいにしていただき、ありがとうございます。

おかげ様で、くすのきはすっきりして、なんだかうれしそうに見えます。西小のシンボルであるこのくすのきは、大正4年（1915年）に、大正天皇の即位を記念して植樹されたとのことです。今年で107歳を迎えることになるくすのきは、子どもたちからも親しまれ、体育の授業では子どもたちが木陰で準備運動をしたり、休憩で水筒の水を飲んだりしています。

春先は落ち葉や小枝がたくさん落ちたのですが、進んで掃除をしてくれたみなさんのおかげで、きれいに片付いています。ありがとうございます。

また、このくすのきは地域の方や卒業された方からも親しまれ、時々「懐かしくて来ました」と、見に来られる方もおられます。西大村小学校は、来年で創立150周年を迎えますが、このくすのきについての思い出話など、聞かせていただけるとありがたいと思っています。

めだかの赤ちゃんも元気です

西小の渡り廊下に置いている水槽の中に、めだかの赤ちゃんが泳いでいます。体長は5 mmほどでしょうか。この春に、たまごからかえりました。

こんなに小さいのに、水の中で目を開けてすいすいと自由に過ごせるなんてすごいなあと思います。私たち人間にはできないことが、めだかにはできるんですね。

でも、私たちも、めだかにはできないことができますよね。

・思いやりのある言葉で、周りの人を元気にする。
・人の話のよいところには、拍手をして励ます。
・協力して話し合い、よりよい学級をつくる…などなど、たくさんありますね。

お互い、できることを一つ一つ積み重ねていきましょう。